

## 南海トラフ地震臨時情報に係るアンケート結果概要について

## 1 アンケート内容

## (1) 目的:

県民がどのような備えや行動をしたのかを把握して今後の防災対策の参考とするとともに、改めて県民の防災意識を高め「実践的な備え」を促すため

## (2) 対象者: 全県民

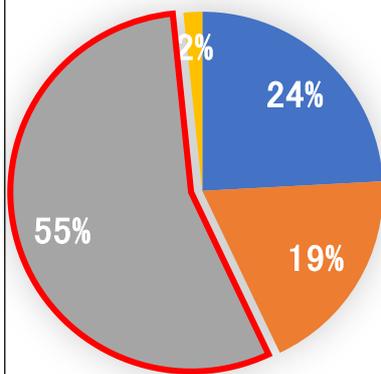
## (3) 実施期間: 令和6年8月27日～9月16日（21日間）

## (4) 回答数: 2,963件（WEB: 2,367件、紙: 596件）

## (5) 結果概要

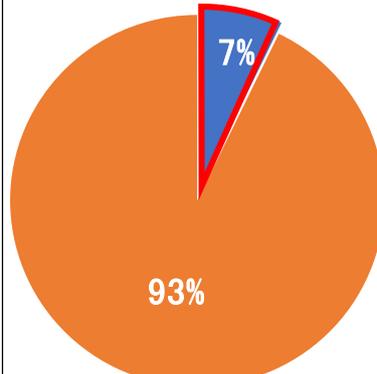
## ○臨時情報について

・臨時情報を今回発表されたことではじめて知った方が、約6割



- 以前から知っていた
- 以前から聞いたことはあった
- 今回発表されたことで知った
- 分からない

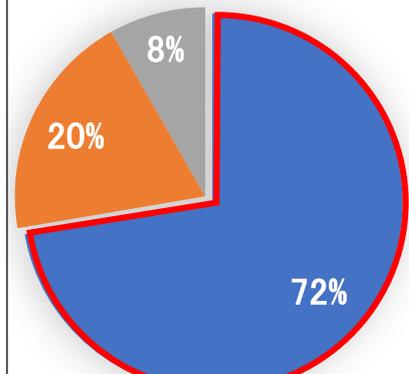
・臨時情報を受け、行動（イベント）を制限した方が、約1割



- 延期したことがあった
- 延期したことがなかった

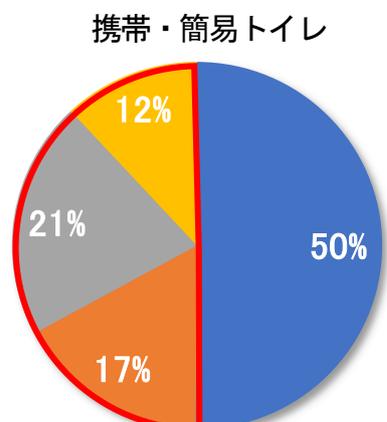
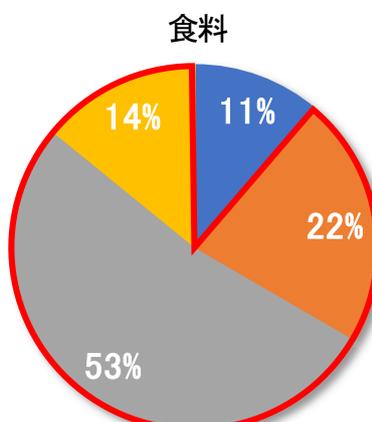
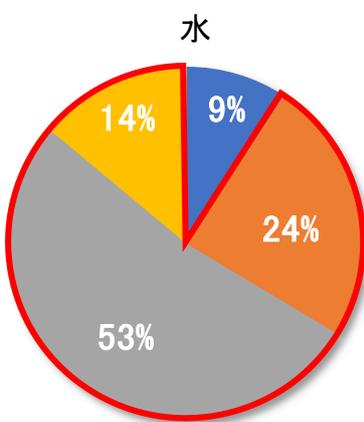
【制限したイベント】旅行、帰省、外出など

・地震の可能性が少しでも高まったなら臨時情報を出して欲しい方が、約7割



- 地震の可能性が少しでも高まったなら、出してほしい
- 地震の可能性が低いなら、出さないでほしい
- 分からない

## ○備えについて（備蓄量）＜水・食料は9割、トイレは5割の方が備蓄＞



- 無し
- 1日分
- 3日分
- 1週間以上

## ○その他自由意見<抜粋> (351件)

### ■臨時情報

- ・必ず発生する南海トラフ巨大地震を落ち着いて受けとめ、もしもの時に冷静に行動するためには「正しい知識を持つこと」が一番大事。啓発活動や防災訓練を密に行ってほしい。
- ・発災時、行政の支援を待つのではなく、自助共助ができるよう、日頃から防災意識を高めておきたい。
- ・自助・共助・公助を生活の一部として普段から取り入れておきたい。また、地域防災も含め県や市町村でもライフハックや防災情報、防災イベントを発信参加呼びかけ等をして頂きたい。
- ・注意報の存在を知らなかったので混乱した。どの程度の可能性か、確率なのか、社会生活への影響が大きかったと思う。1週間程度地震発生に注意！とか不安を煽りすぎない名称とすべき。
- ・もう少しわかりやすい臨時情報であってほしい。

### ■避難・備蓄

- ・地震が発生するかどうかは判らないが、いつ起きてもおかしくないという心の準備ができた。また、備蓄を見直すきっかけとなった。
- ・情報として知っていたが、実際の発表で起きたこと(パニック買い)を体験して我が家の防災を改めて見直す良い機会となった。『これは空振りではない、素振りだ。』
- ・避難場所等はHPを見てわかるが実際、避難する時に施錠がされている場合どのように開錠するかなど具体的な避難システムを県や市のホームページに書いていただけると有難いです。
- ・十分備蓄しているつもりだったが、水や簡易トイレの1人あたりの量をこのアンケートで知り、もう少し必要な気がした。ここを見れば必要な量や目安が一覧でわかるサイトがあれば良いと思う。
- ・避難場所が少なすぎます。県民の命を守るために避難場所、避難用具等の備蓄を県で進めてほしい。

### ■情報発信

- ・立場や状況によって、捉え方は異なるが、最悪の事態を想定して、情報を発信していただければ幸い。何もなければ、それで大丈夫なので。
- ・何時震災が発生するか分からないので、予報や注意報の情報は適宜出して欲しい。空振りになったら、ラッキーと思うようにしている。
- ・情報として警報が出ていることは非常によかったと感じている。しかし、その情報の発信される回数が多すぎたことは問題に感じている。その回数多さに辟易とすることもあったし、そのことについての興味が薄れるということもあったので、回数はもう少し減らしてもよいのではないかと感じた。